

令和6年度公共交通利用状況調査結果について

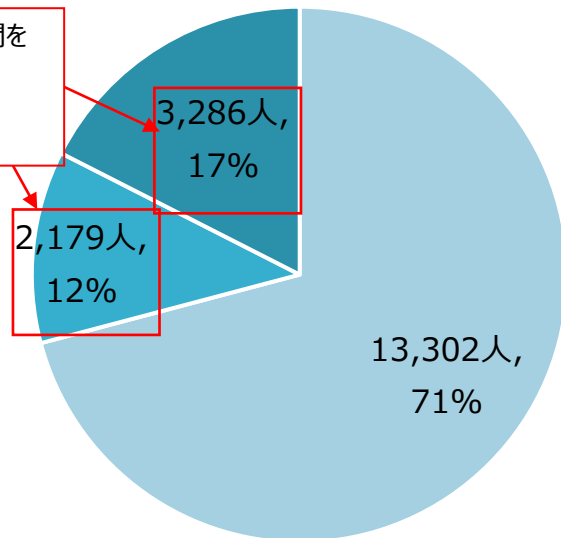
阪堺電車 区間別利用者数

- 平日・休日とも、堺市内区間利用者数は約3割を占めている。
- 平日・休日とも、堺市内区間利用は、堺市内で完結する移動よりも、大阪市とまたがる利用の方が多い。
- 休日は平日と比較すると、大阪市内～堺市内2区間利用の割合が増加する。

平日利用者数

全区間利用者：18,767人

堺市内区間を
含む利用
5,465人
29%

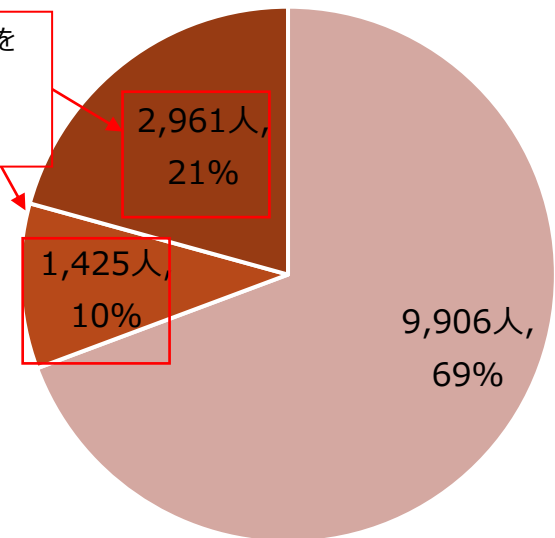


- 大阪市内相互発着
- 堺市内相互発着（我孫子道発着を含む）
- 大阪市内～堺市内2区間利用

休日利用者数

全区間利用者：14,292人

堺市内区間を
含む利用
4,386人
31%



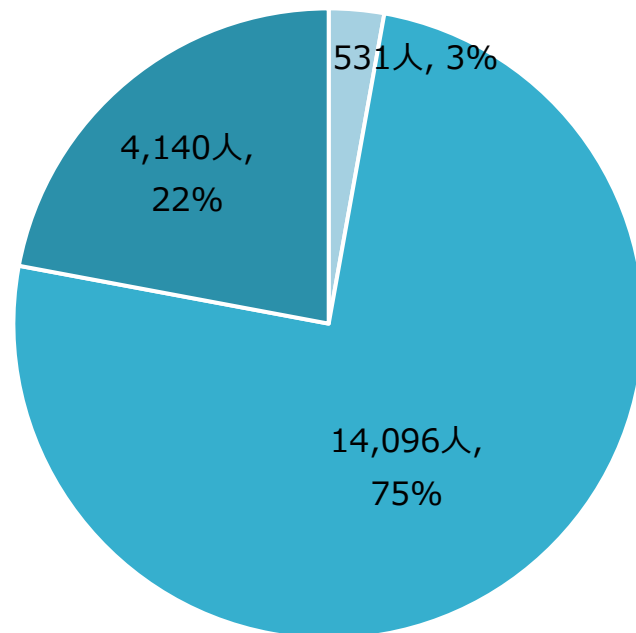
- 大阪市内相互発着
- 堺市内相互発着（我孫子道発着を含む）
- 大阪市内～堺市内2区間利用

阪堺電車 年齢別利用者数

- 65歳以上の高齢者の利用が約2割を占めている。
- 平日・休日とも、利用者の年齢構成は大きくは変わらない。

平日利用者数

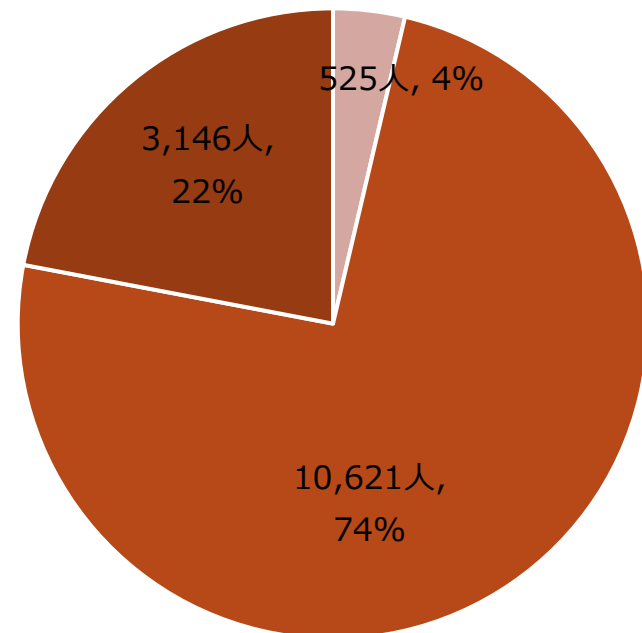
全区間利用者：18,767人



■ 小学生以下 ■ 65歳未満 ■ 65歳以上

休日利用者数

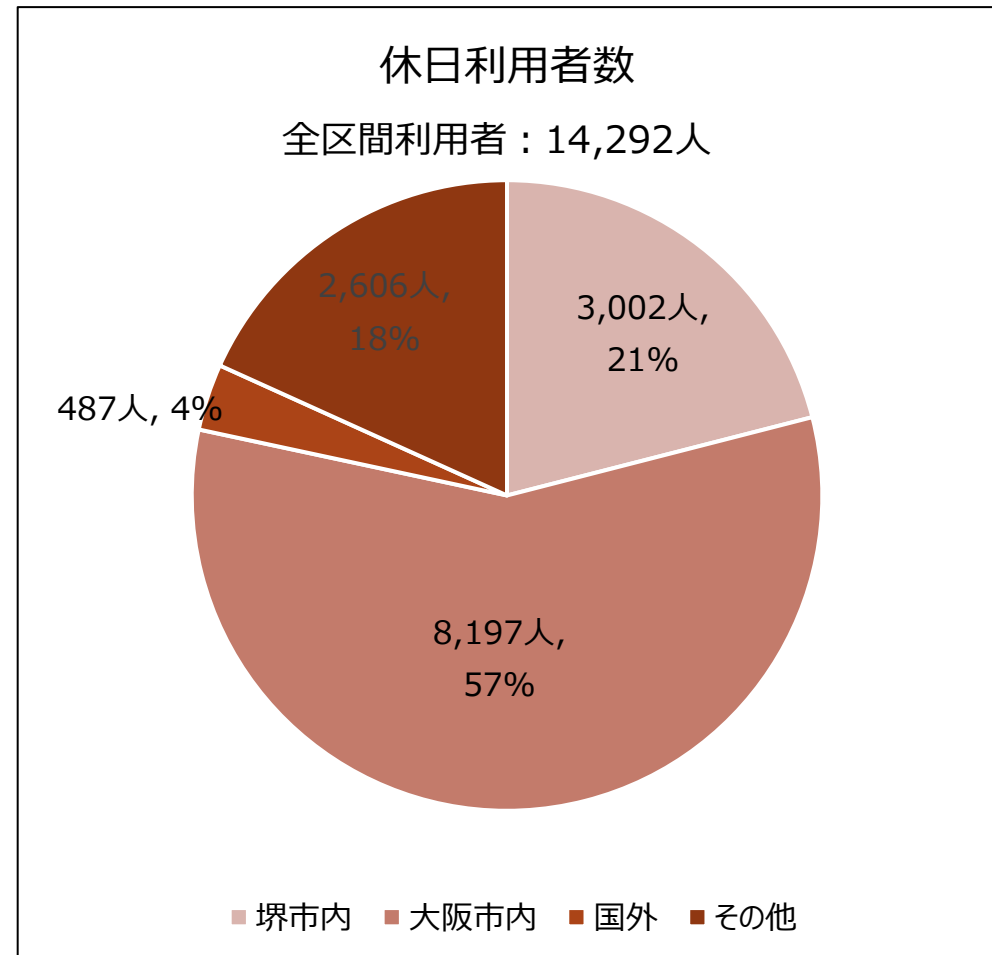
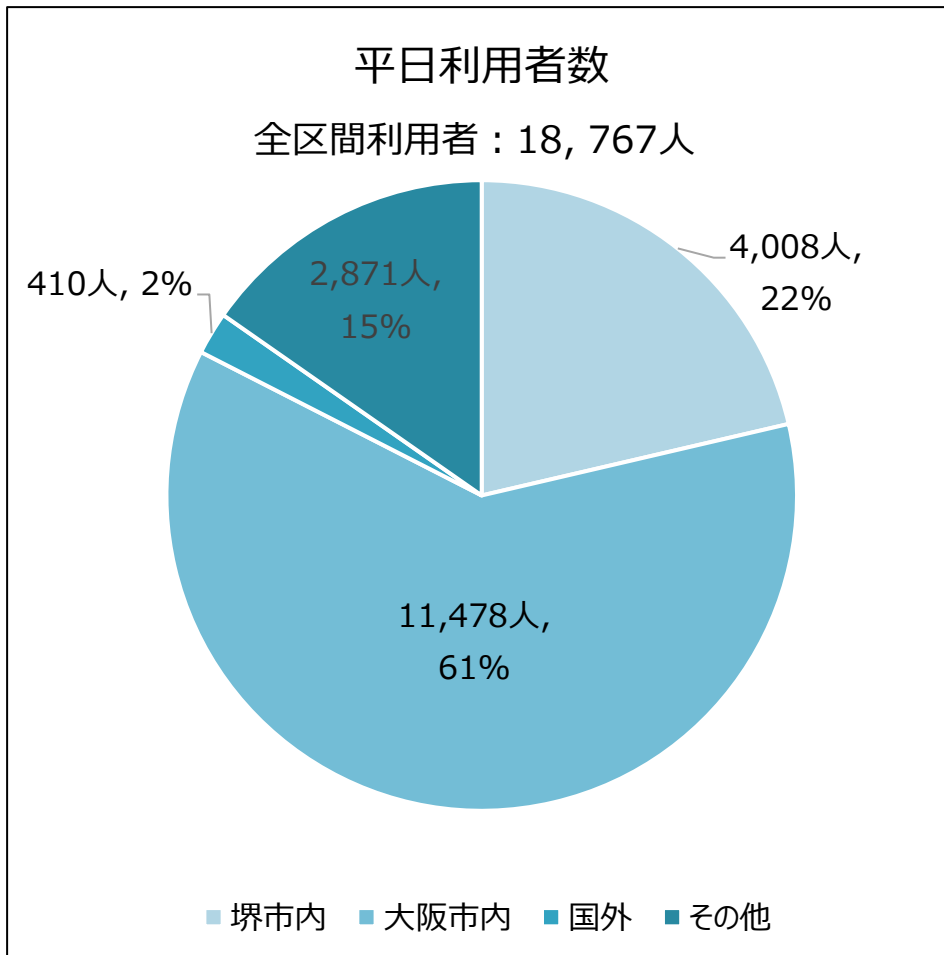
全区間利用者：14,292人



■ 小学生以下 ■ 65歳未満 ■ 65歳以上

阪堺電車 居住地別利用者数

- 堺市内の居住者は約2割を占めている。
- 休日は平日と比較すると、「国外」や「その他」の割合が増え、沿線以外からの利用者が多くなる。

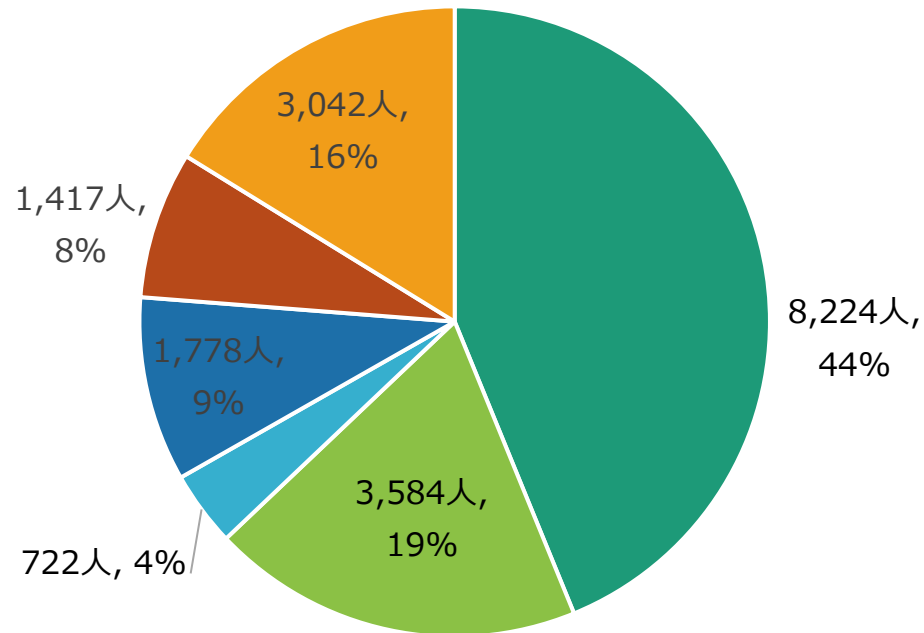


阪堺電車 目的別利用者数

- 平日は「通勤」「通学」の利用が合わせて約6割を占める。
- 休日は「買物」「観光・レジャー」の割合が平日と比較すると大幅に増加し、合わせて約半数を占める。

平日利用者数

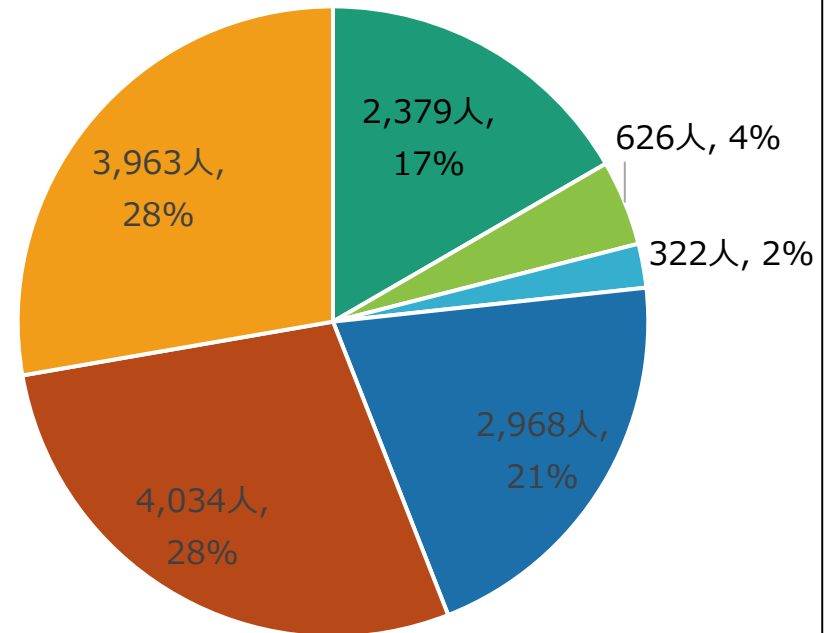
全区間利用者：18,767人



■ 通勤 ■ 通学 ■ ビジネス ■ 買物 ■ 観光・レジャー ■ その他

休日利用者数

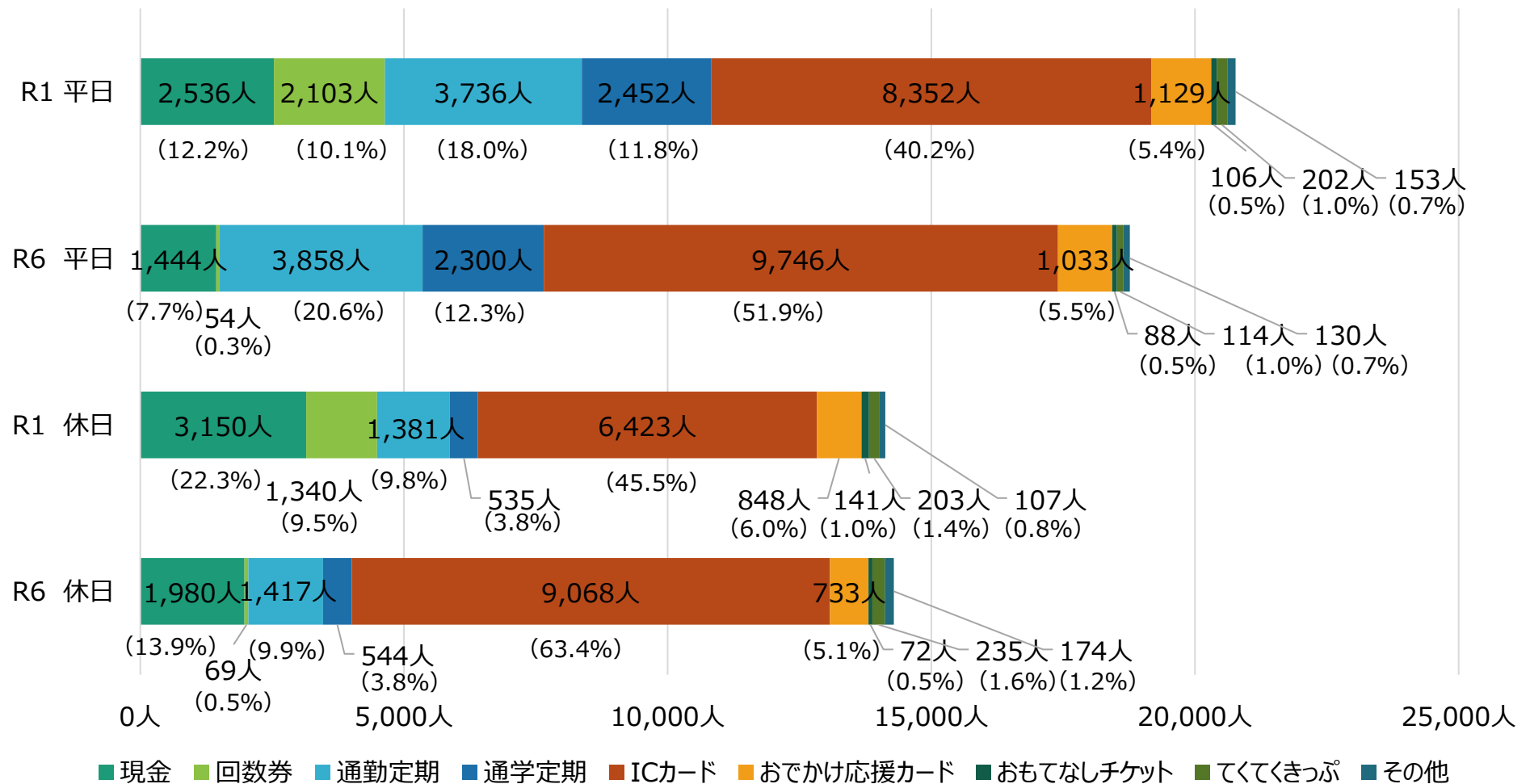
全区間利用者：14,292人



■ 通勤 ■ 通学 ■ ビジネス ■ 買物 ■ 観光・レジャー ■ その他

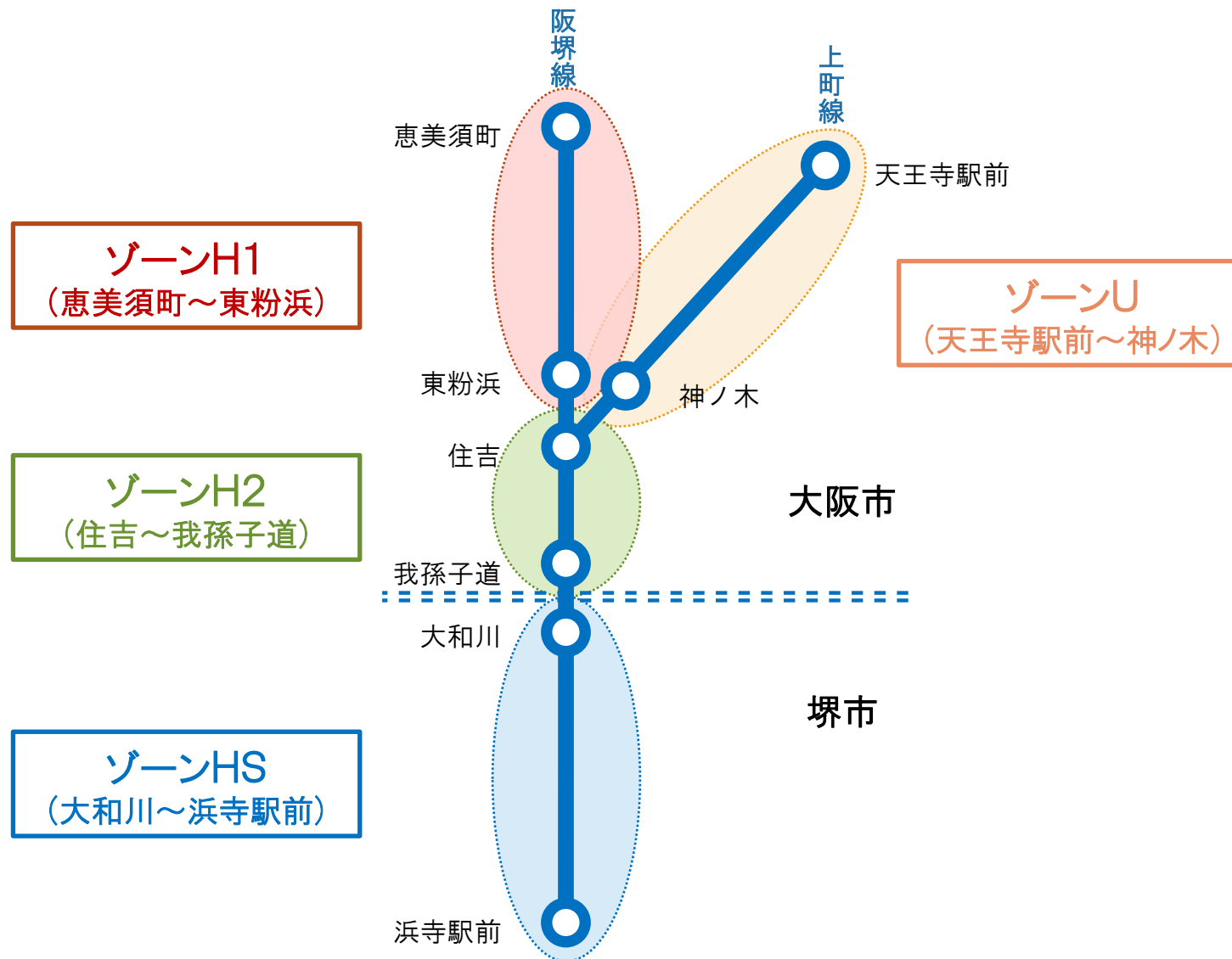
阪堺電車 券種別利用者数

- 「現金」「回数券（R5.6.30販売終了）」の利用が減少し、「ICカード」の利用が増加している。
- 平日は「ICカード」の割合が約半数を、「通勤定期」と「通学定期」を合わせた割合が約1/3を占める。
- 休日は平日と比較すると「通勤定期」「通学定期」の割合が減り、「ICカード」「現金」の割合が増加する。



阪堺電車 ゾーン間利用者数

阪堺線及び上町線を天王寺駅前～神ノ木、恵美須町～東粉浜、住吉～我孫子道、大和川～浜寺駅前の4つのゾーンに分類する。



阪堺電車 ゾーン間利用者数

- 上町線内で完結する移動（U⇔U）が一番多く、次いで上町線と阪堺線住吉～我孫子道との利用（U⇔H2）、堺市内区間と上町線との利用（HS⇔U）が多い。
- 令和元年度と令和6年度を比較すると、堺市内区間と恵美須町方面との利用（HS⇔H1）が大きく減少している。

堺市内区間を含む利用を

ゾーン	平日				平日増減状況	
	R1		R6		R1→R6	
	利用者数（人）	構成比	利用者数（人）	構成比	増減（人/日）	増減率
HS⇔HS	1,919	9.2%	1,766	9.4%	▲153	▲8.0%
HS⇔U	2,837	13.7%	2,578	13.7%	▲259	▲9.1%
HS⇔H1	326	1.6%	205	1.1%	▲121	▲37.1%
HS⇔H2	967	4.7%	916	4.9%	▲51	▲5.3%
U⇔U	8,737	42.1%	7,861	41.9%	▲876	▲10.0%
U⇔H1	35	0.2%	13	0.1%	▲22	▲62.9%
U⇔H2	4,520	21.8%	4,128	22.0%	▲392	▲8.7%
H1⇔H1	558	2.7%	539	2.9%	▲19	▲3.4%
H1⇔H2	712	3.4%	630	3.4%	▲82	▲11.5%
H2⇔H2	158	0.8%	131	0.7%	▲27	▲17.1%
計	20,769	100.0%	18,767	100.0%	▲2,002	▲9.6%

HS: 大和川～浜寺駅前 U: 天王寺駅前～神ノ木 H1: 恵美須町～東粉浜 H2: 住吉～我孫子道

阪堺電車 ゾーン間利用者数

- 利用が多いゾーンは平日と同様の傾向。(U⇔U、U⇔H2、HS⇔U)
- 令和元年度と令和6年度を比較すると、堺市内区間と恵美須町方面との利用 (HS⇔H1) が大きく減少している。
- 平日と比較すると、上町線内完結 (U⇔U) の割合が減少し、堺市内区間と上町線との利用 (HS⇔U) の割合が増加する。

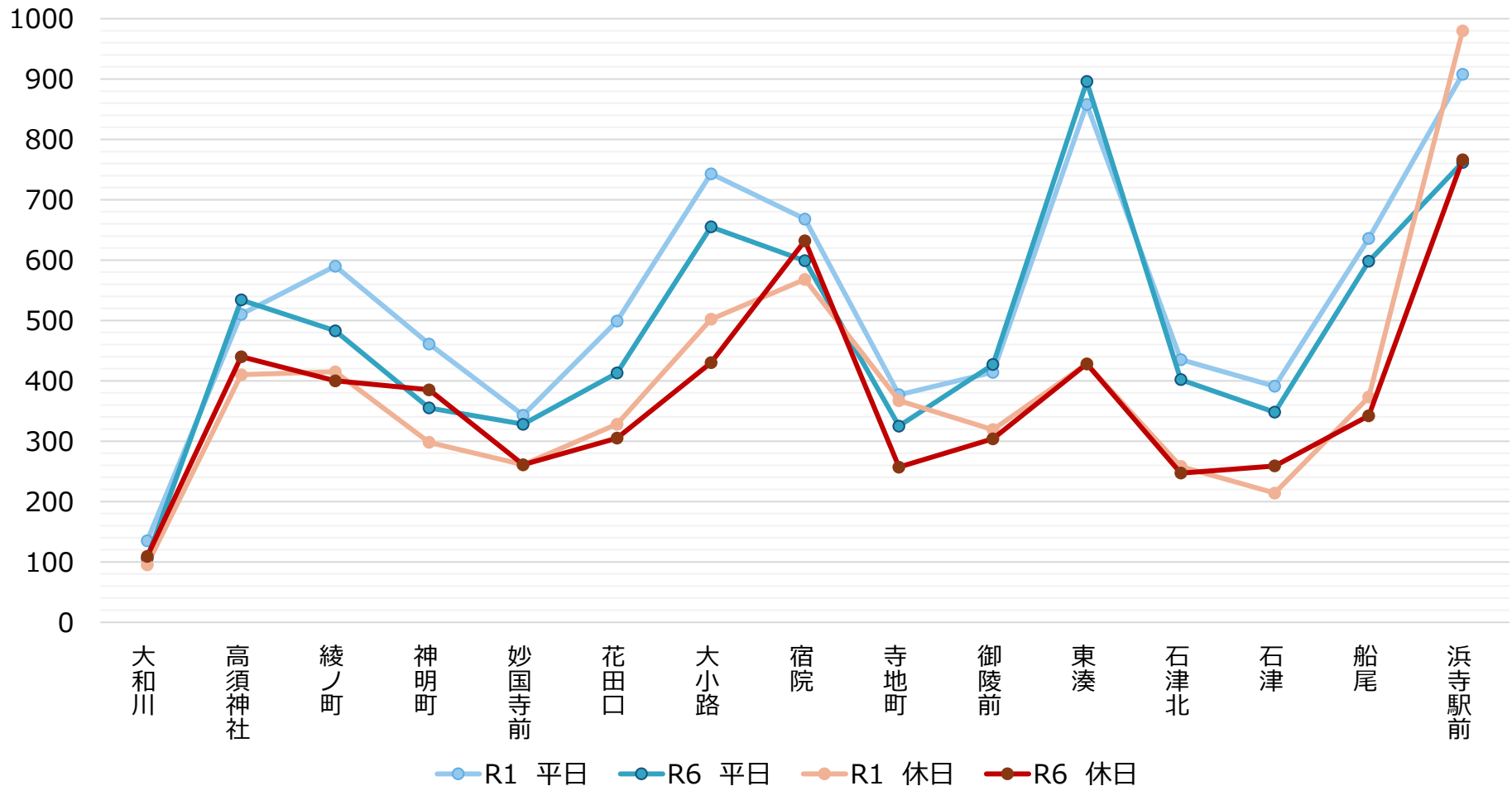
堺市内区間を含む利用

ゾーン	休日				休日増減状況	
	R1		R6		R1→R6	
	利用者数 (人)	構成比	利用者数 (人)	構成比	増減 (人/日)	増減率
HS⇔HS	1,189	8.4%	1,169	8.2%	▲20	▲1.7%
HS⇔U	2,356	16.7%	2,296	16.1%	▲60	▲2.5%
HS⇔H1	330	2.3%	223	1.6%	▲107	▲32.4%
HS⇔H2	752	5.3%	698	4.9%	▲54	▲7.2%
U⇔U	4,751	33.6%	4,785	33.5%	34	0.7%
U⇔H1	17	0.1%	11	0.1%	▲6	▲35.3%
U⇔H2	3,411	24.1%	3,693	25.8%	282	8.3%
H1⇔H1	543	3.8%	510	3.6%	▲33	▲6.1%
H1⇔H2	640	4.5%	735	5.1%	95	14.8%
H2⇔H2	139	1.0%	172	1.2%	33	23.7%
計	14,128	100.0%	14,292	100.0%	164	1.2%

HS: 大和川～浜寺駅前 U: 天王寺駅前～神ノ木 H1: 恵美須町～東粉浜 H2: 住吉～我孫子道

阪堺電車 堺市内停留場別乗降人員

- 堺市内の停留場は、多くの停留場で新型コロナウイルス感染拡大前の令和元年度の水準には戻っていない。
- 一方、休日の利用者数は高須神社、神明町、宿院、石津で令和元年度より増加している。
- 東湊の利用者数が、平日と休日との差が大きい。



- 全利用者数のうち、堺市内区間利用者は約3割を占める。
- 堺市内区間利用は、堺市内で完結する移動よりも、大阪市とまたがる利用の方が多い。
- 休日は平日と比較すると、国外や堺市・大阪市以外といった沿線外から利用者の割合が増加する。
- 平日は通勤、通学の利用目的が多く、休日は観光・レジャー、買物の利用目的が多い。
- 平日、休日とも、ICカードの利用が半数以上を占めている。特に休日は約6割を占める。
- 令和元年度と令和6年度を比較すると、平日・休日とも、堺市内区間と恵美須町方面との利用が大きく減少している。
- 利用者数は新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度の水準までは完全に回復していない。